

和食器(漆器)を日常使いする



漆器（ジャパン） ～漆器は何千年も昔から、日本の食卓を彩ってきました～

1.漆器はどうやって暮らしの中に根付いたのか

静岡・登呂遺跡から漆器が発掘された → 弥生時代から存在した

●奈良時代の終わり 特権階級の人が使っていた（一般の人は白木）

食器以外では
仏具や寺院などで
沢山の漆が使われてた

昔は漆器は今以上に貴重品なもの
婚礼や葬儀の時に、名主や庄屋さんから借りてきて使っていた。

●鎌倉時代 「貸椀屋」ができる

●江戸時代 色んな文化が栄える中、全国で漆器が作られるようになる。
漆塗りの箸や椀が町民の間にも広がっていく。

石川県：輪島塗
福島県：会津塗
青森県：津軽塗

江戸時代の中頃には
磁器もはいつてくる。

2.漆器とは 木の器をより堅牢にしようとする工夫から生まれた

【 漆 】 漆の木が身に受けた傷を自ら癒そうとして出した樹液

3つの特徴：光沢が優美、粘着力が高い、塗膜が強靱

【 木 地 】 櫟、栃、ブナ、桜 など

【 工 程 】 木地 → 塗師 → 加飾 （本来は100を超える工程がある）

【 色 】 朱色、黒



- ・ 蒔絵 漆で絵や文様も描き、漆が固まらないうちに金・銀の金属粉をかける
- ・ 沈金 漆器の表面に絵柄を彫り込み、溝に漆を接着剤として塗り、その上に金箔や色の粉を埋めて模様を描く
- ・ 螺鈿 貝類を彫刻してはめ込む技法



3.漆器の特徴

○耐久性

修繕ができる(代々受け継ぐことができる)

○高い保湿性

温かいものは温かいまま、冷たいものは冷たいまま、継続できる

○触感の柔らかさ

手触り、口触りが柔らかいが、柔らかい為、傷が付きやすいので扱いに注意。

4.漆器の取扱い

漆器の大敵は・・・、

- × 乾燥
- × 直射日光
- × 電子レンジ・オーブン・食洗器・乾燥機
- × 油
- × やきものと重ねての収納
- × 金属のカトラリーの使用

使用後、ぬるま湯で洗って、柔らかい布で水分を拭き取っておく



5.日常への取り入れ方

パンを入れる



ワインクーラーとして使う



お花を飾る



器を入れる容器として



お菓子を盛り付ける



ガラスと組み合わせる



食材を盛り付けて並べる



ガラスと組み合わせる



パン・お花・ガラス



Point

- パンやスイーツを盛る浸ける
- 水や氷を入れる
→ ワインクーラー・花器
- トレイの様に使う
- 和食器意外と組み合わせる
→ ガラスだと失敗しない
- 漆器のお皿を使う時は
お敷きやトレイを使う
(1人分の枠を作る)

参考：流行の和モダンテイスト

